

1. 今月の活動 ~ ブラジル・リオ報告 ~**[ストップ結核パートナーズフォーラム]**

ブラジルのリオ・デ・ジャネイロにて約5年に一度開催されているストップ結核パートナーズフォーラム(以下、フォーラム)が3月23日から25日の3日間開催された。結核の世界最大級のイベントである今大会は世界30か国から1600名が参加し、日本リザルツからは白須事務局長と鈴木が出席した。フォーラムに先立ち新設の国際政策諮問委員会(AAC: アドボカシー・アドバイザー・コミッティ)と理事会も開催されたほか、世界結核計画(2006-2015)の進捗報告書が出された。

フォーラムではカトリック圏のためか、人権に基づいた対策が強調され、感染しない権利などの考えと共に信仰に基づく団体(Faith Based Organization, FBO)、人権団体、WHOストップ結核部の政策担当らが参加してワークショップが開催され、関心は全体に高かった。また、国別パートナーシップのインド、ブラジルらと情報交換し、資金獲得と独立性の二律背反については、ある程度の資金不足を受け入れても政府と独立してアドボカシーするべきとの見解で、一致した。ちなみにパートナーの数はインド44団体、ブラジル84団体で、いずれも自国の対策を中心に活動している。また、近く理事会のNGO枠で選挙が行われることとなった。



会議は2日間開催され、2009年、2010年のアドボカシー戦略が話し合われた。

2. マイクロクレジット シニア・アドバイザー 岡本 直彦さん**マイクロクレジット近況報告(3)**

3月22日(日)小川 友一議員(自民:衆議院東京21区)と面会し、小額融資(マイクロクレジット)の政府ODA増資について依頼を実施した。参加メンバーは日本リザルツの岡本、西尾と、ボランティアの内藤さんです。

今回のポイントとしては、ODAにおける「草の根・人間の安全保障無償協力」(以下、草の根・無償協力)からのマイクロクレジット(以下、MC)への拠出増額である。各国大使館では草の根・無償協力からのMCへの拠出を平成10年から受け付けている。しかし、平成20年までのMCへの拠出累計は12件、1億2000万円程度に過ぎない。

草の根・無償協力は毎年100億円以上が用意されているが、ここからMCへの拠出は僅か0.1~0.2% というごく小額に留まっていることになる。

そこで、世界的にも高く評価されている貧困削減手法であるMCに対し、より多くが割り当てられるようにしていただきたいと陳情をした。小川議員からはお金の融資であり、返済率などの質問があったが、貧困の人たちにもその能力は十分にあることが実証されており、すでに世界中で1億人以上が使用している事などを説明した。次のステップとして、外務省国際協力局 無償資金・技術協力課と連携させていただきたいことをお願いした。

今後も進展があり次第、皆様にお知らせしますので、どうぞ楽しみに。



小川議員(前列中央)と面談した後列左から内藤氏、西尾、岡本。

3 . トピックス 天皇陛下、かつて結核であったことを初めて明かされた。

3月17日、18日にホテルニューオータニで財団法人結核予防会の創立70周年記念「第60回結核予防全国大会」が開かれ、出席された天皇陛下はおことばの中で、「私自身、かつてストレプトマイシンやヒドラジッドなどの(結核の)新薬の恩恵に浴した者の一人です。」と述べられ、ご自身もかつて結核だったことを初めて明らかにされた。また、現在の新しい問題として、都市部を中心に「若い人々や社会的、経済的に弱い立場にある人々の間で、感染者が目立っています」等と指摘され、「結核予防の重要性に人々が理解を深めることは極めて大切なことであると思います。」と陛下自らがお話しされ、結核の問題に対して、もっと人々が関心を持ち、理解が深まることの重要性を強調された。この一大ニュースは、その日のうちに殆どの新聞とテレビのマスコミ各社で取り上げられた。(P3に「天皇陛下のおことば」を掲載)

また、その直後の23日から25日までブラジルのリオ・デ・ジャネイロで開催されたストップ結核のために世界30か国1,600名が参加した「ストップ結核パートナーズフォーラム」でも、このニュースは、大きな話題と関心呼んだ。

4 . ニュース “ハリセンボン” 箕輪はるか さん、肺結核で緊急入院！

4月6日、人気お笑いコンビの“ハリセンボン”の箕輪はるか さん(29歳)が肺結核のため、緊急入院していたことが、所属の よしもとクリエイティブ・エージェンシー から発表された。数日前から咳きが出るなど体調不良を訴えていたが、3日に都内の病院で検査したところ、肺結核であることが発覚した。約2ヶ月の入院が必要と診断された。隔離病棟で内服治療を行い、現在は安定している状態だという。

相方の近藤春菜さんを含め、現在まで関係者への感染は確認されていないが、空気感染のおそれもあるため、よしもとクリエイティブ・エージェンシーでは昨年12月1日から4月3日までに同コンビのライブなどを観覧した客に、長引く咳きなどの症状が出た場合、すぐに病院や診療所での検査、受診を呼びかけた。また、箕輪さんの肺結核の発病を受けて、東京都は6日、臨時電話を設けて感染相談に応じた。10日までの5日間で相談窓口へは1,312件もの相談が寄せられた。箕輪さんは、昨年12月末にも検査を行い、その際には感染が確認されなかったことから、3月に発病したとみられている。共演者や番組スタッフへの健康確認や検査が進められたが、いずれも体調不良や自覚症状を訴える人は今のところ出ていない。しかし、今回の件で、芸能界だけでなく、広く一般市民の人々にも結核が過去の病気ではなく、身近にある感染症であるということ、あらためて気づかせることになった。

5 . お知らせ

【 国際連帯税を推進する市民の会(アシスト) 第1回勉強会 】

4月17日、18:50~20:50 財務省国際局次長 中尾 武彦 氏 を招いて、アカデミー文京学習室(シビックセンター 地下1階)で開催される。

【 第1回国際連帯税推進協議会 】

4月20日、15:00~16:20 参議院議員会館第4会議室で開催される。

当マンスリーレーターに関するご質問・ご意見などございましたら results.japan@gmail.com までご連絡ください。

ご寄附のお願い:世界の貧困・保健問題の解決のため、政策提言活動を行っております。持続的な活動を続けるためにご支援をお願いいたします。郵便局の払い込み用紙に、口座番号00170-9-581459(加入者日本リザルツ)とご記入ください。